

## 活動報告

# 令和元年度 JA 新潟厚生連臨床検査技師会学術活動

糸魚川総合病院、検査科：臨床検査技師

あ べ けん じ  
阿部 健司

令和元年度に JA 新潟厚生連臨床検査技師会が企画運営した学術活動を報告する。

「JA 新潟厚生連臨床検査技師会新人研修会」、「JA 新潟厚生連臨床検査技師会輸血実技講習会」、「JA 新潟厚生連臨床検査技師会春季研修会」、「JA 新潟厚生連臨床検査技師会主任研修会」、「JA 新潟厚生連臨床検査技師会秋季研修会」の5研修会を行った。

今年度は9名の技師が採用され、5月に新人研修会が行われた。各研究班の代表者が講師を務め、講義や実技講習を行い、会長・副会長による職場での接遇・心構え、厚生連・技師会の概況と現状の話もあり、担当部署以外の業務や医療現場で働く事についてなど幅広い内容であった。受講された新人技師には社会人としての成長と共に医療従事者としてもたくさんの事を学び、多方面で力を発揮して頂きたい。

輸血講習会は6月に基礎的な内容の習得を目標とする新人に対する教育とした実技講習会を行った。12月には血液研究班主体の輸血症例検討会と題して座学講習会が行われる予定。輸血検査は安全で適切な輸血療法が実施されるために非常に重要な検査の為、今後も継続して行われる事が望ましいと考える。

春季研修会の特別講演では『ウイルス感染症検査の特徴と適切な選び方、結果の読み方～麻疹、風疹、ムンプス、水痘帯状疱疹を中心に～』と題し、株式会社エスアールエル飯田慶治先生よりご講演頂いた。秋季研修会では、今年度より検査科部長に就任された長岡中央総合病院の中野正明先生より『関節リウマチに続発するアミロイドーシス（腎機能評価の留意点を含めて）』についてご講演頂いた。各研修会では多岐にわたる一般演題が発表され、活発な意見交換、情報交換が行われてとても充実した研修会となった。

主任研修会は2回目の開催となり、各施設19名の主任臨床検査技師が参加した。『AIとこれらの検査室を考える』というテーマでチームディスカッションと発表を行った。資質向上の為に今後も継続して研修会を行ってきたい。

日本医学検査学会、北日本支部医学検査学会、新潟県臨床検査技師会主催の県や各地区の学会及び研修会にも例年通り参加した。第68回日本医学検査学会は『維新 Innovation—確かな知性と技術の躍進—』をテーマに山口県下関市にて5月18日（土）・19日（日）の両日にて開催され、当検査技師会からは代表派遣5名が参加した。第8回北日本支部医学検査学会は『不滅の法灯～臨床検査をさらに明るく～』をテーマに山形県山形市に10月5日（土）・6日（日）の両日にて開催され、当検査技師会からは代表派遣7名が参加した。日々変わりゆく医療に対し、自己研鑽の場として貴重な機会である。JA 新潟厚生連本会の学会、研修派遣への御理解と御協力に深謝する。

以下に令和元年度の各研修会活動内容の詳細を示す。（所属病院、役職、姓名は研修会当時のものである）

### 【令和元年度 JA 新潟厚生連臨床検査技師会新人研修会】

日時：令和元年5月18日（土）

会場：JA 新潟厚生連長岡中央総合病院 健診棟会議室及び各検査室

内容：（部 門） （講 師）

|                 |        |      |              |
|-----------------|--------|------|--------------|
| 接 遇「職場での接遇・心構え」 | …古俣    | 会長   |              |
| 厚生連・技師会の概況と現状   | …山宮    | 副会長  |              |
| 血液検査            | …草野 号  | 技師   | （糸魚川総合病院）    |
| 微生物検査           | …小宮山謙一 | 技師   | （佐渡総合病院）     |
| 生化学検査           | …江口 克也 | 主任技師 | （長岡中央総合病院）   |
| ランチョンセミナー（輸血関連） | …佐藤 雅哉 | 技師   | （長岡中央総合病院）   |
| 実技講習 生理部門       | …寺島 健  | 主任技師 | （小千谷総合病院）    |
|                 | …小池 信代 | 技師   | （柏崎総合医療センター） |
|                 | …植木 基彦 | 技師   | （けいなん総合病院）   |
|                 | …高橋 柚香 | 技師   | （長岡中央総合病院）   |
| 一般部門            | …漆山 徹  | 技師   | （小千谷総合病院）    |
|                 | …石橋美由紀 | 主任技師 | （長岡中央総合病院）   |

（受講対象者…9名）

瀧澤 舞（上越総合病院）  
小林亜矢音（上越総合病院）  
平 桃子（小千谷総合病院）  
常木菜々恵（長岡中央総合病院病理部）

中嶋 惇人（新潟医療センター）  
吉川 早紀（村上総合病院）  
難波 大希（佐渡総合病院）  
福原 祐斗（佐渡総合病院）  
熊谷 健利（佐渡総合病院）

〔順不同〕

要旨：今年度の新採用者9名参加で新人研修会を行った。会長、副会長より接遇・心構え、厚生連・技師会の概況と現状の講義があった。それぞれの部門で講師の方々より講義して頂き、生理部門と一般部門では実技講習も行った。今回ランチョンセミナーで輸血の講義も行い、充実した研修会となった。研修会で学んだことを日常業務で役立て、検査分野を限定せずたくさんの学会、研修会に参加して、自らのスキルアップと認定資格の取得等に励んで頂きたい。

【令和元年度 JA 新潟厚生連臨床検査技師会春季研修会・総会】参加人数：134名

日時：令和元年6月1日（土）

会場：JA 新潟厚生連長岡中央総合病院 講堂及び各検査室

・特別講演

『ウイルス感染症検査の特徴と適切な選び方、結果の読み方  
～麻疹、風疹、ムンプス、水痘带状疱疹を中心に～』

株式会社エスアールエル 飯田 慶治 先生

・一般演題

座長…宇佐美 宏晃技師（三条総合病院）

1. 『当院の AST 活動について』 …藤田 勝嘉 技師（上越総合病院）

2. 『新しい肝予備機能評価法 ALBIgrade を導入して』 …奈良 佳輝 技師（長岡中央総合病院）

3. 『職員健診にて偶然発見された特発性反応性低血糖の一症例  
—FreeStyle リブレを用いたフラッシュグルコースモニタリング解析—』  
…近藤 善仁 技師（あがの市民病院）

座長…内山 浩美 技師（柏崎総合医療センター）

4. 『厚生連輸血研修会報告』 …小林由佳里 技師（小千谷総合病院）

5. 『非浸潤性乳管癌（DCIS）が疑われたが硬癌であった一例』  
…中野佳菜子 技師（長岡中央総合病院）

・分科会

＜一般検査研究班＞参加人数：11名

議事

- ・従来の班長、副班長選出方法の問題点を確認。
- ・新しい役員選出方法の選定。
- ・新年度の班長、副班長を選出。

＜微生物研究班＞参加人数：12名

講義

『Gene Xpert によるマルチプレックス PCR 法の微生物検査における有用性について』  
ベックマン・コールター株式会社

＜血液研究班＞参加人数：15名

議事

- ・凝固検査に関するアンケートについて

講義

『凝固検査の基礎と取り扱いの注意点』 シスメックス株式会社

＜病理研究班＞参加人数：10名

講義

『検査室に求められる運用システムとは？』、『DigitalPathology』  
ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

＜生化研究班＞参加人数：16名

議事

- ・各施設のパニック値について
- ・標準作業書・作業日誌について
- ・班長副班長の選出
- ・各施設での試薬状況として統一試薬以外での院内測定項目について

講義

『全国学会参加報告&2級臨床検査士（臨床科学）受験報告』  
あがの市民病院 近藤 善仁 技師

＜生理研究班＞参加人数：45名

講義

『ABI、PWV、CAVI』 フクダ電子株式会社

・ 総会

◎令和元年度役員（所属は当時）

|                          |         |
|--------------------------|---------|
| 技師会長…山宮 龍一（新潟医療センター）     |         |
| 副会長…安藤 昭子（三条総合病院）        | …（学術）担当 |
| 副会長…吉田 賢一（小千谷総合病院）       | …（組織）担当 |
| 事務局長…佐藤 雅哉（長岡中央総合病院）     |         |
| 事務局員…阿部 健司（糸魚川総合病院）      |         |
| 役員…植木 基彦（けいなん総合病院）       | …（組織）担当 |
| …木島 貴志（上越総合病院）           | …（生化）担当 |
| …藤沢 芳子（柏崎総合医療センター）       | …（血液）担当 |
| …大橋 珠紀（長岡中央総合病院病理部）      | …（病理）担当 |
| …田村 和孝（豊栄病院）             | …（細菌）担当 |
| …市村 正道（あがの市民病院）          | …（学術）担当 |
| …今村 正亮（村上総合病院）           | …（一般）担当 |
| …斉藤 桂子（佐渡総合病院）           | …（生理）担当 |
| 会計…岡 真由美（長岡中央総合病院）       |         |
| 会計監査…山崎 健作（柏崎総合医療センター）   |         |
| 検査システム委員…木島 貴志（上越総合病院）   |         |
| ホームページ委員…山川 栄一（けいなん総合病院） |         |

◎令和元年度研究班役員（所属は当時）

【一般検査研究班】

|                     |
|---------------------|
| 班長…渡辺 美絵（新潟医療センター）  |
| 副班長…鶴巻浩太郎（あがの市民病院）  |
| 事務局…飯浜 綾子（長岡中央総合病院） |

【微生物研究班】

|                    |
|--------------------|
| 班長…小柳 洸士（佐渡総合病院）   |
| 副班長…松田真由美（あがの市民病院） |

【血液研究班】

|                     |
|---------------------|
| 班長…伴田 美穂（村上総合病院）    |
| 副班長…渡辺 玲子（新潟医療センター） |

【病理細胞診研究班】

|                        |
|------------------------|
| 班長…水落 幸希（糸魚川総合病院）      |
| 副班長…多田 直人（長岡中央総合病院病理部） |

【生化学研究班】

|                    |
|--------------------|
| 班長…佐藤 卓（新潟医療センター）  |
| 副班長…近藤 善仁（あがの市民病院） |
| 副班長…笹川 亮（上越総合病院）   |

【生理研究班】

|                     |
|---------------------|
| 班長…藤田 桂子（三条総合病院）    |
| 副班長…西村 祥子（長岡中央総合病院） |
| 副班長…武田 恵子（豊栄病院）     |
| 副班長…福田 裕美（糸魚川総合病院）  |

・ 平成30年度最優秀演題、優秀演題表彰

●最優秀演題

『抗 JMH 保有が推測される症例を経験して—高頻度抗原に対する抗体が疑われた場合の対応—』

中原 万里 技師（佐渡総合病院）

受賞理由：抗 JMH 保有疑いの症例から代表的な高頻度抗原に対する抗体の反応性及び性状に加え、地域性も含めた対応を照査されていることも評価された。

●優秀演題表彰

『肉芽種性乳腺炎の一例』

西村 祥子 技師（長岡中央総合病院）

受賞理由：乳がんの検査では、マンモグラフィ、超音波検査、視触診でそれぞれの利点はもちろん難点をお互い補足することが大切である。（診断は病理）今回の症例は、超音波検査が検者の知識や技術に依存することが大きいことが難点ではあるが、リアルタイムに観察することで正常のバリエーションや乳腺症なのか、あるいは悪性疾患との鑑別に非常に有用であることを確認できた演題である。

要旨：特別講演は『ウイルス感染症検査の特徴と適切な選び方、結果の読み方—麻疹、風疹、ムンプス、水痘帯状

疱疹を中心に〜』という内容で株式会社エスアールエル飯田慶治先生ご講演頂いた。ウイルス感染症は空気感染や接触感染、経口感染、飛沫感染等により口や鼻、粘膜から体に侵入する感染力の強い感染症である。そのため、急性期でどの検査を選択し、治療を行うかが重要となる。検査には培養法、抗原検査、核酸検査、抗体検査があり、発病後できるだけ早期に検体採取する事が大切である。ウイルス抗体検査は外注委託で検査する事が多く、血液検査での感染確認はペア血清が有用であり、ウイルスごとの感染後の抗体反応パターンや検査法の特徴や組み合わせを考慮した上での検査の選択や結果の解釈が重要となる。一般演題は生化学部門、生理部門から5演題の発表があった。新しい試みや技術向上のための定期的な研修会、貴重な症例の情報共有となる有意義な内容であった。各研究班では今年度の研究班長等の改選を行い、講師を招いての講義、現状の問題点が討議された。

#### 【令和元年度 JA 新潟厚生連臨床検査技師会輸血実技講習会】参加人数：16名

日時：令和元年6月15日（土）

会場：JA 新潟厚生連長岡中央総合病院 5ブロック会議室

講師：5名

|                |                 |
|----------------|-----------------|
| 小林由佳里（小千谷総合病院） | 佐藤 雅哉（長岡中央総合病院） |
| 市村 正道（あがの市民病院） | 中束 哲夫（村上総合病院）   |
| 笠井恵美子（佐渡総合病院）  |                 |

受講者：11名

|                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 瀧澤 舞（上越総合病院）       | 小林亜矢音（上越総合病院）   |
| 土屋 亜弥（小千谷総合病院）     | 平 桃子（小千谷総合病院）   |
| 常木菜々恵（長岡中央総合病院病理部） | 中嶋 惇人（新潟医療センター） |
| 吉川 早紀（村上総合病院）      | 難波 大希（佐渡総合病院）   |
| 福原 祐斗（佐渡総合病院）      | 熊谷 健利（佐渡総合病院）   |
| 渡部 聖也（糸魚川総合病院）     |                 |

要旨：今年度の新採用者11名で輸血実技講習を行った。認定輸血検査技師が講師となり輸血検査の技術、基礎的事項について学習した。講習会の目的は基本となる試験管法を正しく身に付け、さらに緊急輸血に対する考え方、知識を得ることである。午前は血液型検査を中心に行い、3検体（裏試験の凝集が弱い検体、Rh（-）検体、部分凝集検体）を各自で検査し、血液型判定、異常反応の有無、原因、追加検査、情報収集を含む対応等について記述してもらい、ディスカッションを行った。午後からは不規則抗体スクリーニングと不規則抗体同定検査を行い、その検査方法、臨床的意義についても知識を深めることができた。また緊急時に用いる製剤の選択順などについても学習した。

輸血検査は安全で適正な輸血が実施されるために非常に重要な検査である。輸血ミスは重大な医療過誤に繋がる場合があり、その防止の観点からも認定輸血検査技師から直接指導を受けることはとても重要であると考える。

#### 【令和元年度 JA 新潟厚生連臨床検査技師会主任研修会】参加人数：主任臨床検査技師19名 技師長3名

日時：令和元年9月7日（土）

会場：JA 新潟厚生連長岡中央総合病院 講堂

受講対象者…19名

|                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 網島 直子（糸魚川総合病院）    | 戸田 誠二（上越総合病院）     |
| 小川由加里（上越総合病院）     | 高橋 英雄（柏崎総合医療センター） |
| 内山 浩美（柏崎総合医療センター） | 寺島 健（小千谷総合病院）     |
| 吉田 賢一（小千谷総合病院）    | 石橋美由紀（長岡中央総合病院）   |
| 内山 博子（長岡中央総合病院）   | 吉田 和永（長岡中央総合病院）   |
| 江口 克也（長岡中央総合病院）   | 山田 玲子（三条総合病院）     |
| 佐藤真理子（新潟医療センター）   | 長谷川秀浩（新潟医療センター）   |
| 田村 和孝（豊栄病院）       | 市村 正道（あがの市民病院）    |
| 大倉 哲夫（村上総合病院）     | 北見 嘉男（佐渡総合病院）     |
| 坪谷 貴治（佐渡総合病院）     |                   |

〔順不同〕

要旨：各施設の主任臨床検査技師19名で主任研修会を行った。厚生連臨床検査技師会として2回目となる主任臨床検査技師の研修会で、目的は主任臨床検査技師の更なる資質向上である。午前の講演「AIとこれらの検査室を考える」を基に参加者を4チームに分け、「AIにより検査室にどのような変化が起こるのか？」というテーマについてチームディスカッションを行い、チーム毎に発表を行った。仕事の効率化や、検査結果の信頼性向上などのメリットがあるが、雇用の減少や責任の所在が難しい、臨床検査技師の質が低下してしまうのではないかと、といったデメリットについても発表があった。各チームの発表後、「AI時代の検査室に求められる臨床検査技師とは？」をテーマにワールドカフェ形式でディスカッションを行った。主任臨床検査技師として責任ある考えを示し、簡潔にプレゼンテーションが行われた。AIについて理解を深め、これからの検査室を考えていく上で有意義な研修会であった。

【令和元年度 JA 新潟厚生連臨床検査技師会秋季研修会】参加人数：131名

日時：令和元年11月2日（土）

会場：JA 新潟厚生連長岡中央総合病院 講堂及び各検査室

・特別講演

『関節リウマチに続発するアミロイドーシス（腎機能評価の留意点を含めて）』

長岡中央総合病院 検査科部長 中野 正明 先生

・一般演題

座長…林 春紀 技師（豊栄病院）

1. 『胃腸症状を呈さなかった *Salmonella* O8群による脾膿瘍の1症例』

…新田 敏貴 技師（長岡中央総合病院）

2. 『血液ガス分析装置 ABL800におけるラクテート測定の有用性』

…樋口 正幸 技師（長岡中央総合病院）

3. 『臭素イオンの共存により偽性高 CL 血症を示した一症例』

—TBA2000FR における影響回避方法の検討—

…鶴巻浩太郎 技師（あがの市民病院）

座長…佐藤 真理子主任技師（新潟医療センター）

4. 『両側乳がん全摘出後5年目に内胸リンパ節への転移を認めた1例』

…高橋 恵 技師（小千谷総合病院）

5. 『超音波診断装置による舌骨上筋・下筋群の嚥下機能評価』

…寺島 健 主任技師（小千谷総合病院）

・分科会

＜一般検査研究班＞参加人数：6名

議事

・尿定性自動分析機の内部精度管理について

講義

『尿定性検査の精度管理について』 栄研化学株式会社

＜微生物研究班＞参加人数：11名

議事

・新役員の選出

講義

『結核症の現状と全自動遺伝子解析装置  $\mu$ TAS を用いた遺伝子システムの紹介』

富士フィルム和光純薬株式会社

＜血液研究班＞参加人数：13名

議事

・事前アンケートをもとにした情報交換

講義

『凝固検査の機器説明』 シスメックス株式会社

＜病理研究班＞参加人数：11名

講義

『がんの治療で注目されている免疫チェックポイント阻害剤であるキイトルーダの効能・効果と作用機序、その適応を判定する MSI 検査の測定原理や検体提出の際の注意点など』

…水落 幸希 技師

＜生化研究班＞参加人数：21名

議事

・新役員の選出

講義

『ALP、LD IFCC 法切替えにむけて—酵素測定法の返還と現状について—』

＜生理研究班＞参加人数：40名

議事

・ワーキンググループの説明

…寺島 健 主任技師

講義

『ホルター心電図で見るペースメーカの基本動作と最近の機能』

フクダ電子株式会社

要旨：特別講演は『関節リウマチに続発するアミロイドーシス（腎機能評価の留意点を含めて）』という内容で、長岡中央総合病院検査科部長の中野正明先生からご講演頂いた。中野先生は今年度当技師会の顧問に就任していただき、会員の皆様に知ってもらう機会として講演をお願いした。疾病の特徴、治療方法、腎機能評価まで非常にわかりやすく話して頂いた。関節リウマチは男性より女性の方が多く発症し、自己の免疫を攻撃してしまう事で起きる疾患である。関節リウマチにアミロイドーシスが合併すると多臓器障害を起こし、予後が悪いとされている。抗リウマチ薬であるメトトレキサート（MTX）やバイオ製剤を用いて、早期に治療を



行うことが重要である。しかし、注意点として腎機能評価で用いる eGFR の値が30以下の場合には禁忌、60以下で慎重に使用しなければならない。また、筋肉量の少ない患者はクレアチニンが上昇しにくいことから、腎機能の低下が見逃されてしまい、メトトレキサート (MTX) の過剰投与になってしまう事がある。そのため、腎機能低下を早期に反映するシスタチン C を用いて腎機能を正しく評価することが大切である。一般演題は5題で細菌部門、生化学部門、生理部門など多岐分野にわたり充実した内容であった。各研究班では講師を招いた講義、業務上の情報共有や今後の活動、新役員ついてなどが検討され、活発な分科会となった。

【令和元年度 JA 新潟厚生連臨床検査技師会輸血症学講習会】(予定)

日時：令和元年12月7日(土)

会場：JA 新潟厚生連長岡中央総合病院 健診棟会議室

内容：輸血症例検討

【令和元年度学会派遣状況】

第68回日本医学検査学会

山口県山口市：令和元年5月18日(土)・19日(日)

代表派遣5名

林 春紀(豊栄病院)

近藤 善仁(あがの市民病院)

小玉瑛里樺(糸魚川総合病院)

竹部 和紗(小千谷総合病院)

桃井真理恵(長岡中央総合病院) [順不同]

第8回日臨技北日本支部医学検査学会

山形県山形市：令和元年10月5日(土)・6日(日)

代表派遣7名

多田 直人(長岡中央総合病院 病理部)

長谷川秀浩(新潟医療センター)

福田 裕美(糸魚川総合病院)

丸山 茜(上越総合病院)

信田 佳穂(柏崎総合医療センター)

坂井 郁美(村上総合病院)

佐藤 駿(佐渡総合病院) [順不同]